

AFCワンゴールキャンペーンについて

1. AFCワンゴールキャンペーンについて

AFCが、2012年当時、2022 FIFAワールドカップ カタール大会までの道程を考慮し、CSR活動の10年戦略を検討していた中で、今後、アジア全域を目標に意欲的に取り組んでいこうと創出した新しい社会的責任活動のひとつ。

具体的には、アジアの多くの地域内で共通の課題として掲げられる貧困や急成長に伴う栄養不良、肥満の問題の解決を図るアドボカシー活動を行うもの。

まず、アンバサダー選出の連絡を受けていた状況であるが、AFCとしては、各国の協会やクラブがその活動に協力することを希望している状況がある。



2. 運営方式

下記の5つの団体にて、パートナーシップ型の組織運営をしている。

- ①AFC
- ②Royal DSM (蘭本社・サイエンス企業)
- ③ASIAN FOOTBALL DEVELOPMENT PROJECT (国際NGO)
- ④Global Alliance for Improved Nutrition (国際NGO)
- ⑤World Vision International (国際NGO)

3. その活動実績 ※同ホームページより抜粋

- (1) 公式ホームページ等によるプロモーション、募金受付等



(2) 各種競技会等での映像やバナー掲示によるプロモーション

- ・ A F C カップ 2014
- ・ A F C チャンピオンズリーグ 2014
- ・ A F C アジアカップ 2015 (活動を計画中)



4. 日本における協力活動について (予定)

現状、以下のとおりにて検討している。

(1) 方針

- ・ A F C の方針
「サッカーによるアジアの子どもたちの栄養の改善」
- ・ J F A の方針
「日本サッカー界がアジアおよび国内の子供たちの栄養の改善に寄与する」

(2) 活動開始時期 (予定)

- ・ 2015 年度開始を予定 ※予算取得が必要であるため
- ・ 2014 年度中に A F C 主催活動にて協力が必要である場合、支出規模等を考慮

(3) 活動予定内容

- ・ 日本のサッカー界における アドボカシー活動 を中心とする。
 - ① J F A 公式サイトでの啓発、情報発信
 - ② 一部競技会での告知、啓発活動
 - ③ 指導者・審判員・選手等一部登録者への啓発活動
 - ④ A F C が主催する競技会等でのアンバサダー、選手等を通じた啓発活動

※募金活動等を実施する可能性も検討中

(*) 「アドボカシー活動とは」 一般社団法人日本アドボカシー協会の定義より

アドボカシー (advocacy) は、元々は「擁護」や「支持」「唱道」などを意味する言葉でした。やがて、「政策提言」や「権利擁護」など、特定の政策を実現するために社会的な働きかけを行う活動を示すようになりました。また、「政府や自治体に対して影響をもたらす、公共政策の形成及び変容を促すことで、社会的弱者、マイノリティー等の権利擁護、代弁の他、その運動や政策提言、特定の問題に対する様々な社会問題などへの対処を目的とした活動」とも定義されます。

(4) 協力パートナー

- ・ 特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン (国際NGO)

(*) ワールド・ビジョンは、

キリスト教精神に基づいて開発援助、緊急人道支援、アドボカシー活動（市民社会や政府への働きかけ）を行う国際NGO。

①開発援助	子どもたちの健やかな成長を目指して地域の自立的発展を支援する、チャイルド・スポンサーシップによる地域開発援助を核として活動しています。教育、保健衛生、農業指導、水資源開発、収入向上、指導者育成、HIV/エイズ対策など幅広い分野で長期的な支援を行っています。国連機関や政府機関と連携した開発援助事業にも積極的に取り組んでいます。
②緊急人道支援	災害発生時の緊急援助や、紛争等のために生じる人道支援のニーズに対して、食糧、衣料、毛布、テント等の支援物資の配布や、人々の精神的ケアなどの緊急人道支援を実施しています。緊急期が過ぎた後には、人々の生活の回復に向けて、保健衛生、教育、農業復興、住居再建など、生活基盤の復興を支援しています。
③アドボカシー活動	貧困や紛争の原因について声をあげ、問題解決のために政府や市民社会に働きかけることを、アドボカシーといいます。ワールド・ビジョンは、世界が子どもにとって安全で平和な場所になることを目指して、アドボカシー活動を行っています。「子どもの権利」を促進するための活動のほか、G8サミット開催時には署名キャンペーンやロビイング活動を行い、子どもたちを守ることが国際政治の中でも優先事項となるように働きかけています。

以上